

各市町村長  
各消防補償等組合管理者  
各水防組合管理者  
水害予防組合管理者

} 様

消防団員等公務災害補償等共済基金  
常務理事 有岡 宏  
〔公印省略〕

公務に起因する疾病の範囲について等の一部改正について（通知）

公務に起因する疾病の範囲について（平成 2 年 3 月 14 日消基発第 119 号）、脳血管疾患及び虚血性心疾患等公務上災害の認定について（平成 14 年 11 月 18 日消基発第 334 号）及び精神疾患等の公務上外の認定について（平成 12 年 6 月 2 日消基発第 170 号）の一部を下記のとおり改正するので通知します。

ただし、この改正は平成 28 年 4 月 1 日以後に発生した事由について適用し、同日前に発生した事由については、なお従前の例によることとします。

記

1 「公務に起因する疾病の範囲について」を次のとおり改正する。

別紙の二の⑤中「電離放射線」を「次に掲げる電離放射線（以下「放射線」という。）」に改め、同⑤に次のように加える。

- ア アルファ線、重陽子線及び陽子線
- イ ベータ線及び電子線
- ウ 中性子線
- エ ガンマ線及びエックス線

別紙の三の④中「せん孔、タイプ、電話交換、電信等の業務」を「電子計算機への入力を反復して行う業務」に、「手指のけいれん、手指、前腕等のけん、けんしょう若しくはけん周囲の炎症又は頸肩腕症候群」を「後頭部、頸部、肩甲帯、上腕、前腕又は手指の運動器障害」に改める。

別紙の四の①中「別表」を「公務上の災害の認定基準について（平成 15 年 9 月 24 日地基補第 153 号 地方公務員災害補償基金理事長通知）別表」に、同③中「うるし」の下に「、テレピン油」を加え、同⑧中「①から⑦」を「①から⑧」に改め、同⑧を同⑨とし、同⑦を同⑧とし、同⑥の次に次のように加える。

- ⑦ 石綿にさらされる業務に従事したため生じた良性石綿胸水又はびまん性胸膜肥厚

別紙の五中「じん肺症」の下に「又はじん肺と合併した次に掲げる疾病」を加え、同五に次のように加える。

- ア 肺結核
- イ 結核性胸膜炎
- ウ 続発性気管支炎
- エ 続発性気管支拡張症
- オ 続発性気胸
- カ 原発性肺がん

別紙の六の①中「看護の業務」の下に「、介護の業務」を加える。

別紙の七の⑫中「①から⑪」を「①から⑭」に改め、同⑫を同⑮とし、同⑪を同⑭とし、同⑩中「骨肉しゅ又は甲状腺がん」を「骨肉腫、甲状腺がん、多発性骨髄腫又は非ホジキンリンパ腫」に改め、同⑩を同⑬とし、同⑨中「肝血管肉しゅ」を「肝血管肉腫又は肝細胞がん」に改め、同⑨を同⑩とし、同⑩の次に次のように加える。

- ⑪ 一・二ジクロロプロパンにさらされる業務に従事したため生じた胆管がん
- ⑫ ジクロロメタンにさらされる業務に従事したため生じた胆管がん

別紙の七の同⑧を同⑨とし、同⑦中「中皮しゅ」を「中皮腫」に改め、同⑦を同⑧とし、同⑥を同⑦とし、同⑤の次に次のように加える。

- ⑥ ベリリウムにさらされる業務に従事したため生じた肺がん

別紙の八を十とし、同七の次に次のように加える。

八 相当の期間にわたって継続的に行う長時間の業務その他血管病変等を著しく増悪させる業務に従事したため生じた狭心症、心筋梗塞、心停止（心臓性突然死を含む。）、心室細動等の重症の不整脈、肺塞栓症、大動脈りゅう破裂（解離性大動脈りゅうを含む。）、くも膜下出血、脳出血、脳血栓症、脳塞栓症、ラクナ梗塞又は高血圧性脳症及びこれらの疾病に付随する疾病

九 人の生命に関わる事故への遭遇その他強度の精神的又は肉体的負荷を与える事象を伴う業務に従事したため生じた精神及び行動の障害並びにこれに付随する疾病

別紙の（注）中「第2号、第3号、第4号、第6号及び第7号」を「二から四まで及び六から八まで」に改め、「これらの疾病に付随する疾病」の下に「並びに九に掲げる「これに付随する疾病」」を加え、同（注）に次のなお書きを加える。

なお、三の「これらの疾病に付随する疾病」には、三の③の手指、前腕等の運動器障害に付随して起こる粘液のうの疾患が含まれるものとする。

別紙の（注）を同（注）の②とし、同（注）に次のように加える。

（注）二から九までに掲げる疾病の取扱いについては、次によるものとする。

- ① 二から九まで（二の⑬、三の⑤、四の⑨、六の⑤及び七の⑮を除く。）に掲げる疾病は、当該疾病に係る当該各号の業務に伴う有害作用の程度が当該疾病を発症させる原因になるのに足るものであり、かつ、当該疾病が医学経験則上当該原因によって生ずる疾病に特有な症状を呈した場合は、特に反証のない限り公務上のものとして取り扱うものとする。

別表を削る。

2 「脳血管疾患及び虚血性心疾患等公務上災害の認定について」を次のとおり改正する。

第 1 段落中「「公務と相当因果関係をもって発生したことが明らかな疾病」を「「公務に起因する疾病の範囲について」（平成 2 年 3 月 14 日消基発第 119 号）別紙の八に該当する疾病として」に改め、「公務による」の下に「強度の」を加え、「自然的経過以上に」を「自然的経過を超えて」に改める。

3 「精神疾患等の公務上外の認定について」を次のとおり改正する。

前段中「外傷後ストレス障害等の精神疾患等」を「消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の運用において、国際疾病分類第 10 回修正版第 V 章「精神および行動の障害」に分類される精神疾患」に改め、「以下「精神疾患」という。」の上に「器質性のもので及び有害物質に起因するものを除く。」を加え、「(以下「死亡等」という。)」を削り、「の 8 の⑦の「公務と相当因果関係をもって発症したことが明らかな疾病」と」を「別紙の九に該当する疾病として」に改め、「精神疾患の発症前」の下に「のおおむね 6 か月の間」を加え、「諸事情の重積により」の下に「強度の精神的又は肉体的」を加え、「が必要です。」を「、並びに公務以外の負荷及び个体側要因により精神疾患を発症したとは認められないこと、の要件をいずれも満たしていることが必要になります。」に改める。

後段中「予め」を「別紙「精神疾患等の認定調査票」により、」に改める。

記の次に次の別紙を加える。

別紙

精神疾患等の認定調査票

I 消防団員等に関する調査事項

1. 基礎的事項	
ふりがな 本人氏名：	(男・女) 昭和・平成 年 月 日生 (発生時 歳・死亡時 歳)
身分種別：	<input type="checkbox"/> 消防団員 <input type="checkbox"/> 水防団員 <input type="checkbox"/> 消防作業従事者 <input type="checkbox"/> 水防従事者 <input type="checkbox"/> 応急措置従事者 <input type="checkbox"/> 救急業務協力者
所属：	消防団 階級： 勤務年数： 年 月
消防団の組織図：	<input type="checkbox"/> 有 (別添) <input type="checkbox"/> 無
年間行事計画書：	<input type="checkbox"/> 有 (別添) <input type="checkbox"/> 無
2. 災害発生の状況等	
発生日時：平成 年 月 日 ( ) 時 分頃	発生場所：
傷病名等 (ICD-10)：	
災害発生の概況：	
災害発生現場の見取図等 (自殺 (未遂を含む。)) の場合のみ → <input type="checkbox"/> 有 (別添) <input type="checkbox"/> 無	
本人又は家族の申立書 → <input type="checkbox"/> 有 (別添) <input type="checkbox"/> 無	
3. 災害発生前の活動状況等 (災害発生6か月前から災害発生時までの活動状況等の遷移が分かるように記述すること)	
本人の所属する組織全体の活動状況：	
本人の通常の活動内容と災害発生前の活動内容の詳細及びそれらの比較	
本人の通常の活動内容：	
本人の災害発生前の活動内容：	
消防団活動に関連した異常な出来事への遭遇	
<input type="checkbox"/> 有 → 目撃者等の証言等異常な出来事の内容が分かる資料： <input type="checkbox"/> 有 (別添)	
<input type="checkbox"/> 無	
「有」の場合は、その具体的な内容 (発生した時間及び場所を含む。) 及び原因：	
災害発生日及び災害発生前1か月間の活動状況の詳細：	
災害発生前6か月間の活動状況 (過重な負荷となる可能性のある公務が災害発生の6か月前から引き続いている場合には、その全期間についての勤務状況を調査すること)：	

II 本人の職業 (勤務者・自営業者) に関する調査事項

1. 基礎事項		
勤務者の場合		
所属企業名：	役職名：	
所属企業の組織図： <input type="checkbox"/> 有 (別添) <input type="checkbox"/> 無		
自営業者の場合		
業種：	事業年数： 年 月	事業内容：
本人の業務内容：		

2. 災害発生前の業務従事状況等	
本人の属する組織全体の業務状況：	
本人の業務内容及び分担状況（災害発生6か月前から災害発生時まで異動があった場合は異動ごとに記述すること）	
本人に通常割り振られた業務内容：	
本人に特に割り振られた業務内容：	
災害発生時の職への就任年月日：平成 年 月 日 （なお、現在の担当業務が災害発生時と異なる場合にはその担当時期：平成 年 月 日）	
災害発生前6か月間の勤務状況：	

### Ⅲ その他（日常生活等）に関する調査事項

1. 災害発生前の本人の言動等	
消防団活動における言動：	
言動に対する消防団の対応：	
職場における言動：	
言動に対する職場の対応：	
家庭における言動：	
言動に対する家族の対応：	
2. 災害発生時の医師の所見等	
精神疾患に関する主治医の診断書・意見書等	
主治医の診断書・意見 → <input type="checkbox"/> 有（別添）	
診療録又は診療要約等 → <input type="checkbox"/> 有（別添）	
3. 健康状況等	
定期健康診断等の記録、指導区分及び事後措置の内容（過去5年間）： <input type="checkbox"/> 有（別添）	
精神疾患に関する既往歴 → <input type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	
「有」の場合は、その内容（診断名、医療機関名、治療状況、時期、期間、療養経過を含む。）	
主治医の診断書・意見 → <input type="checkbox"/> 有（別添）	
診療録・診療要約 → <input type="checkbox"/> 有（別添） <input type="checkbox"/> 無（入手不可の場合）	
常用薬服薬 → <input type="checkbox"/> 有（内容 ） <input type="checkbox"/> 無	
4. 日常生活等	
災害発生前6か月間の生活状況：	

私生活上の事故（交通事故、犯罪被害等）、離婚、経済問題（多額の借金等）等の心配事、家族・親族等についての心配事（負傷、疾病、死亡、事故等） → 有 無

「有」の場合は、その発生時期と具体的内容：

#### 5. 趣味、し好、家族状況等

趣味、スポーツ等：

し好品 → 日本酒（ 合/日） ビール（ 本/日） 洋酒（ 杯/日） その他（ ）（ 杯/日）

家族構成（うち同居している家族は○で囲むこと）： 有（別添）

本人の性格

職場からみて：

家族からみて：

#### 6. 解剖所見等

解剖所見：

警察署の意見：

遺書又は遺言 → 有 無

「有」の場合は、その具体的内容：

#### 7. その他

その他参考となる資料： 有（別添）

- 備考 1 用紙サイズはA4とするが、各欄の大きさ及び調査票の枚数は、記載内容に応じたものとする。
- 2 該当する□には✓印を記入すること。